

蕨 広報WARABI 4

2010/平成22年
わらび・702

- 平成22年4月1日発行／発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 3月1日現在人口：71,989人 前月比 -50人
男 36,795人 女 35,194人
世帯数：35,657
人口密度：14,115人/km²



桜並木的美観守り続けて40年 春見つけた！保存会の皆さん

桜の名所、南町桜並木遊歩道（全長約800[㍎]）で先月下旬、桜が開花。昭和45年の結成以来、掃除などの活動が続ける南町桜並木保存会（会員10人・柴田善次郎会長）の皆さんも、春を告げる桜の息吹に顔をほころばせます。皆さんもピンク色に染まる遊歩道を散歩してみませんか。

——— 目 次 ———

- 特集：新年度予算……………2
- 特集：蕨駅のバリアフリー化…10
- 地域包括支援センターを
社会福祉協議会に委託…………12
- ほっと・エッセイ……………14
- エンジェルわらぶ……………14
- まちの話題……………15
- 輝いていま ひと……………16

■一般会計（歳入）

単位＝千円

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	市民1人 当たり(円)	1世帯 当たり(円)
市 税	10,900,000	11,300,000	△ 400,000	151,324	305,322
地 方 譲 与 税	120,000	120,000	0	1,666	3,361
利子割交付金	25,000	30,000	△ 5,000	347	700
配当割交付金	8,000	10,000	△ 2,000	111	224
株式等譲渡所得割交付金	2,000	5,000	△ 3,000	28	56
地 方 消 費 税 金	500,000	500,000	0	6,941	14,006
自動車取得税金	50,000	50,000	0	694	1,401
地方特例交付金	101,000	101,000	0	1,402	2,829
地 方 交 付 税	950,000	600,000	350,000	13,189	26,611
交通安全対策特別交付金	11,000	11,000	0	153	308
分 担 金 及 び 負 担 金	179,743	171,408	8,335	2,495	5,035
使用料及び手数料	255,683	257,563	△ 1,880	3,550	7,162
国庫支出金	2,923,639	2,600,381	323,258	40,589	81,895
県 支 出 金	1,007,661	925,294	82,367	13,989	28,226
財 産 収 入	68,860	64,701	4,159	956	1,929
寄 附 金	300	200	100	4	8
繰 入 金	781,137	831,969	△ 50,832	10,844	21,880
繰 越 金	150,000	150,000	0	2,082	4,202
諸 収 入	950,377	1,129,484	△ 179,107	13,194	26,621
市 債	1,160,600	1,022,000	138,600	16,113	32,510
合 計	20,145,000	19,880,000	265,000	279,671	564,286

各表は、平成22年度の一般会計、特別会計、企業会計とその総合計です。

■一般会計（歳出）

単位＝千円

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	市民1人 当たり(円)	1世帯 当たり(円)
議 会 費	257,834	231,352	26,482	3,579	7,222
総 務 費	2,737,775	2,466,763	271,012	38,008	76,689
民 生 費	8,443,881	7,264,454	1,179,427	117,226	236,523
衛 生 費	1,797,864	1,760,630	37,234	24,960	50,360
労 働 費	55,957	95,892	△ 39,935	777	1,568
農林水産業費	7,643	6,940	703	106	214
商 工 費	259,383	262,701	△ 3,318	3,601	7,266
土 木 費	2,316,222	3,288,205	△ 971,983	32,156	64,880
消 防 費	804,308	793,988	10,320	11,166	22,530
教 育 費	1,771,477	2,088,985	△ 317,508	24,593	49,621
公 債 費	1,486,047	1,455,455	30,592	20,631	41,626
諸 支 出 金	176,609	134,635	41,974	2,452	4,947
予 備 費	30,000	30,000	0	416	840
合 計	20,145,000	19,880,000	265,000	279,671	564,286

一般会計では、平成22年1月1日現在の人口72,031人、世帯35,700で市民1人当たりと1世帯当たりも換算しています。

■特別会計

単位＝千円、％

会 計 名	本 年 度	前 年 度	伸び率
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	7,309,000	7,117,000	2.7
老 人 保 健 医 療 特 別 会 計	12,000	20,000	△ 40.0
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	1,743,000	1,778,000	△ 2.0
錦町土地区画整理事業特別会計	1,289,000	1,243,000	3.7
中央第一土地区画整理事業特別会計	18,000	21,000	△ 14.3
介 護 保 険 特 別 会 計	3,625,000	3,434,000	5.6
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	671,000	650,000	3.2
合 計	14,667,000	14,263,000	2.8

■企業会計

単位＝千円、％

会 計 名	予算科目	本 年 度	前 年 度	伸び率
病 院 事 業 会 計	収益的支出	3,118,903	3,127,439	△ 0.3
水 道 事 業 会 計	収益的支出	1,287,525	1,400,928	△ 8.1
合 計		4,406,428	4,528,367	△ 2.7

■総合計

単位＝千円、％

会 計 名	本 年 度	前 年 度	伸び率
一 般 会 計	20,145,000	19,880,000	1.3
特 別 会 計	14,667,000	14,263,000	2.8
企 業 会 計	4,406,428	4,528,367	△ 2.7
合 計	39,218,428	38,671,367	1.4

一般会計の予算額は、201億4500万円です。前年度より13%の増額です。市に入ってくる税金は、「歳入」の中心となる市税は、長引く深刻な経済不況の影響により、前年

一般会計は13%増の201億4500万

平成22年度の歳入の総予算額は、前年度より14%多い392億1842万8000円です。市は毎年4月から翌年3月までを「年度」として区切りの仕事をしたり、お金を経理したりしています。予算には、3つの会計があります。市民の皆さんの生活にいちばん密着し、行政運営の基本的な経費をつかさどる「一般会計」と区画整理や国民健康保険などの事業を行う「特別会計」、そして、市立病院や水道の事業収入などで経営する「企業会計」です。では、各会計の概要をご説明しましょう（上表参照）。

22年度の予算総合計14%増の約392億

度より4億円少なく見込むほか、戸田競艇配分金も1億2500万円減額となっています。一方、国の地方財政計画を踏まえ、地方交付税と臨時財政対策債で5億1000万円増額するほか、市の貯金とも言える基金からの繰り入れなどで、必要な財源を賄っています。また、使われるお金「歳出」では、「くらしの安心と未来への希望」をテーマに、安全安心、子育て支援、文化とスポーツの振興、健康づくりなどを更に充実させて、あつたか市政の5本柱を推進します。

特別会計は、予算総額146億6700万円で前年度より28%の増額となりました。今年度も、国民健康保険の特定健康診査事業を進めるほか、介護保険の地域支援事業の充実を図ります。

経営改革を進める市立病院と安定した水の供給を行う水道事業の企業会計では、前年度より27%少ない44億642万8000円の予算で、効率的な経営を図ります。

■テレビ広報「ハローわらび」が借りられます／ケーブルテレビで放送している行政広報番組「ハローわらび」のビデオ・DVDが借りられ→

〈特集〉新年度予算／①市長の方針と予算概要

「くらしの安心と未来への希望」あつたか市政の22年度予算

春の訪れとともに、市では、新年度予算が始まりました。そこで今月は、4月から来年3月までの1年間のまちづくりをまとめた、平成22年度予算を特集します。ここ、22年度では、頼高市長に22年度の市政運営や予算編成のあらましを聞きました。

平成22年度は、どのように市政を進められますか。

市長 第一に、市民の皆さんのさまざまな願いを盛り込んだマニフェスト（公約）の着実な推進、第二に、財政の健全化との両立、第三に、蔵の優れた地域力を生かした市民との協働のいっそうの推進、という3つの基本姿勢で市政運営に当たり、市民の暮らしを支える「あつたか市政」の更なる充実、発展を図っていきたくと考えています。

——そういった姿勢で編成された22年度予算の特徴を教えてください。

市長 ひと言で言えば「くらしの安心と未来への希望」です。暮らしの安心では、防犯・防災対策を引き続き強めるとともに、医療や介護の充実、更には、依然として厳しい経済状況が続いているだけに、緊急経済対策の実施や国民健康保険税の据え置きなどを行います。



▶22年度の市政運営と予算を語る頼高市長

未来への希望では、なんとといっても、次代を担う子どもたちの子育て支援や教育の充実、更には、将来子どもたちに借金のおツケを回さないため、この2年間で市の借金を14億円以上削減してきましたが、新年度も引き続き削減を図ってまいります。

——現在と未来の双方を見据えているのですね。それでは、マニフェストは具体的にどう進むのでしょうか。

市長 蔵駅西口に続き、東口へのエレベーター設置や入院に続き通院での中学卒業までの「こども医療費無料化」の拡大、知的障害のあるかたのための夜間保護事業の開始、在宅要介護高齢者手当の創設、小学校3・4年生での35人程度学級の

実現、幼稚園児補助金の引き上げなどを行います。そのほか、LED防犯灯の増設、小・中学校の耐震化、浸水対策のための北町地区への雨水調整池設計委託なども予算化したしました。

分かります。最後に、今年度の市政運営に取り組む決意をお聞かせください。

市長 昨年度は、蔵市が市制施行50周年を迎え、多くの市民の皆さんと行政が心を1つに、蔵のまちを大いに盛り上げることでできた1年でした。50周年記念事業を通じて実感したことは、蔵の市民の皆さんの市民力のすばらしさです。地方分権の進展のなかで、私は、まちの総合力、いわば地域力が問われる時代になると考えています。蔵の優れた地域力を更に発揮し、日本一のコンパクト

シティ・蔵のよさを最大限に生かした協働型のまちづくりを進めていきたいと思っています。

まちづくりの主役は市民の皆さんです。引き続き、市政へのご支援をよろしく願っています。

平成22年度の市政運営と予算は『広報蔵・増刊号』頼高市長の施政方針表明でご紹介しています。併せて一読ください。



◀多くの人でにぎわった「蔵市民公園桜まつり」

→ます 放送中の番組は放送終了後から貸し出しができます ご依頼をお待ちしています 申し込み・問い合わせ＝秘書広報課（☎433・7703）



安全・安心きれいなまちづくり

安心と希望を運ぶ 5つの重点施策

**北町地区の浸水対策
更に進む学校耐震化**

毎年実施されている市民意識調査で、市民の皆さんの関心が高い施策の防犯と防災対策。そこで、市ではいちばん目の重点施策として、皆さんの暮らしの安全と安心を支えます。

まず、防災対策では、大雨などによる浸水対策を進めるため、広さ1918平方メートルある北町1丁目の「わらび公園」の下に約5000ト規模の雨水調整池を設ける計画を推進します。そこで今年度は、設計委託料として1029万円を計上しました。

声



南町1丁目
みうら とよお
三浦 豊男さん

犯罪防止に少しでも役立ちたいと、南町のさつき町会の防犯パトロールを始めて4年目。元気な子どもたちの笑顔を守るため、雨の日も欠かせません。安全なまちには、私たちの小さな努力とあいさつし合えるご近所があることも大事でしょうね。

学校校舎の耐震化工事は、今年、一中A棟、二中教室棟、東中特別教室棟を21年度補正予算で実施します。22年度予算では、西小4期校舎、中央小、中東小特別教室棟の工事設計委託料を計上し、進めます。なお、23年度には全校舎の耐震補強が完了予定のため、今年度は更に、東小、西小、南小、塚越小の体育館の耐震診断を実施し耐震化を推進します。

22年度予算は、「くらしの安心と未来への希望」を特徴に編成されました。そこで、ここ5ページから9ページまでで、5つの重点施策をご紹介します。

学校校舎の耐震化工事

一般会計予算(主な事業)		議費		民生費	
新		新		新	
議会資料デジタル化委託料	2,974,4	民生・児童委員会協議会補助金	1,312,7	民生費	3,822,3
平和都市宣言塔設置工事	1,374,4	社会福祉協議会補助金	7,000,0	民生費	3,822,3
庁舎軸耐力補強工事設計等委託料	14,984,4	市民葬(委託料・式場使用料)	3,852,8	民生費	3,822,3
庁舎電気機械設備等調査委託料	6,642,2	住宅手当緊急特別措置費	2,083,2	民生費	3,822,3
国際交流事業	3,900,0	自立支援給付費	3,822,3	民生費	3,822,3
自転車盗難等防犯対策業務委託料	1,033,2	地域活動支援センター事業負担金	1,644,5	民生費	3,822,3
防犯灯設置等工事	2,538,6			民生費	3,822,3
公文書管理 臨時職員	3,380,0			民生費	3,822,3
ホームページ情報システム	2,909,9			民生費	3,822,3
広報資料デジタル化委託料	1,395,3			民生費	3,822,3
広報誌	1,341,4			民生費	3,822,3
番組制作委託料	2,407,9			民生費	3,822,3
旧旭町公民館解体工事	9,900,0			民生費	3,822,3
公有財産台帳電子化事業委託料	9,555,5			民生費	3,822,3
経営戦略に係る計画策定懇談会	1,500,0			民生費	3,822,3
「わらぶ」Tシャツの作成	2,100,0			民生費	3,822,3
情報処理業務委託料	1,096,2			民生費	3,822,3
広報から暴力防止被害の保護に関する基本計画策定のための意識調査	14			民生費	3,822,3
コミュニティ運営協議会交付金	2,220,0			民生費	3,822,3
町会補助金	1,299,9			民生費	3,822,3
町会街灯電気料補助金	1,479,9			民生費	3,822,3
町会街灯維持管理費補助金	3,079,9			民生費	3,822,3
交通安全施設整備工	1,700,0			民生費	3,822,3
駅前自転車等対策業務委託料	4,590,0			民生費	3,822,3
駅前前置自転車等対策強化業務委託料	4,300,0			民生費	3,822,3
駅前前置自転車等対策強化業務委託料	5,447,7			民生費	3,822,3
コミュニティバス運行業務補助金	4,618,7			民生費	3,822,3
市民会館指定管理料	7,279,7			民生費	3,822,3
駅前西口連絡所改修工事	1,060,0			民生費	3,822,3
家屋課税資料調査委託料	3,742,2			民生費	3,822,3
市税等収納員	1,256,0			民生費	3,822,3
コンビニ収納取扱手数料等	2,749,9			民生費	3,822,3
市税等電話勧奨事業	1,425,5			民生費	3,822,3
滞納管理システム	7,882,2			民生費	3,822,3
戸籍電算化事業 臨時職員	2,188,8			民生費	3,822,3
戸籍総合システム	3,843,3			民生費	3,822,3
タイプ浄書等業務委託料	1,345,7			民生費	3,822,3
参議院議員選挙	2,247,8			民生費	3,822,3
国勢調査等 他6調査	3,722,6			民生費	3,822,3

新1新規事業 拡1拡充事業 ◎1マニエスト項目

○興業雇用創出基金事業

単位:千円

6 ページへ続く

最も使われるお金 健康支える民生費

市の予算額は大きな金額ですので、分かりづらいと思います。そこで、皆さんの生活に密着した一般会計の予算を市民1人当たりには換算して、分かりやすくご説明します。

歳入項目	割合
市税	54.1%
国庫支出金	14.5%
市債	5.8%
県支出金	5.0%
諸収入	4.7%
地方交付税	4.7%
繰入金	3.9%
その他	7.3%

支出項目	割合
民生費	41.9%
総務費	13.6%
土木費	11.5%
教育費	8.8%
衛生費	8.9%
公債費	7.4%
消防費	4.0%
その他	0.4%

金は、27万9671円となり、前年度より1407円多くなっています。一方、市民の皆さんに負担していただく税金は、6844円少ない1人当たり15万1324円です。差額12万8347円は、交付税などで賄われています。市民1人当たりに使われるお金の内訳（右・

家庭児童指導室の増設、在宅要介護高齢者支援事業などの充実を図ります。

続いて2位は、総務費の3万8008円で、防犯灯の設置や町会、コミュニティ活動への補助など、安全で安心なまちづくりを進めます。

3番目は3万2156円の土木費で、蔵駅東口の

産税の5万9627円
で、以下、都市計画税、
市たばこ税……と続きます。
市民1人に使われる市
のお金と、負担していた
く税金の内容はお分か
りいただけたでしょう
か。続く5ページから9ページは、
予算の柱となった、5つ
の重点施策の主な事業内
容をご紹介します。

市の予算額は
ます。そこで、
市民1人当たり

（円グラフと下図参照）を見てみますと、児童や高齢者、障害者などの福祉に使われる民生費が11万7226円といちばん多く、歳出の約42％に当たります。民生費では、こども医療費の拡充や留守

エレベーター設置や北町地区への雨水調整池の設計などを行います。

一方、市民の皆さんに負担していただく税金の内訳は、1位が歳入の約54%を占める市民税7万489円、続いて固定資

大きさに換

軽自動車税  396円	市たばこ税  6,664円	都市計画税  14,148円	固定資産税  59,627円	市民税  70,489円	市税総額 1人当たり 151,324円	市民1人が負担 する税金	民生費  117,226円	歳出総額 1人当たり 279,671円	市民1人に使わ れる市のお金
労働費ほか  1,299円	諸支出金  2,452円	議会費  3,579円	商工費  3,601円	消防費  11,166円	公債費  20,631円		教育費  24,593円	衛生費  24,960円	

→見込み・人事院が卒業者と同等と認める人も可) 約850人 受付=14日まで 受験案内の請求=関東信越国税局人事第二課(☎048・600・3111)



▶**蕨市立病院経営改革プラン**で安心と信頼のある病院へ

高齢者・障害者・誰もが健康に暮らせるまちづくり

間保育所が開業します。市では、保育所の整備費用に補助金1677万4000円を計上し、待機児童の解消を進めます。

そのほか「くるる」には、1階に旭町公民館が移設するほか、3階には180席ある文化ホールが整備され、学ぶ楽しさと地

域の触れ合いをはぐくむ生涯学習フェスティバルの委託料の拡充と併せて、市民の皆さんの文化活動の向上を図ります。

また、錦町2丁目の富士見公園内庭球場のクレーコート4面を人工芝に改修し、スポーツに励む皆さんにおこたえます。

▶10月オープン予定の「くるる」公民館、2階には民間保育所、3階の文化ホールが整備されます



▲人工芝となる富士見公園内庭球場

子育て支援・文化・教育・ス

35 年度学級は小学3・4年生で実施

▶35人程度学級は小学3・4年生で実施

子育て支援・文化・教育・スポーツの振興

**防犯対策一段と強化
環境に優しい防犯灯**

います。今年度も引き続き、皆さんの活動を支援するほか、防犯の更なる強化を図り、大型店舗の駐輪場などを巡回する、自転車盗難等防犯対策費、103万2000円計上しました。

防犯灯は、環境に優しいLED照明で、21年度補正予算と合わせて75基設置します。防犯灯の設置は、市長就任以来、これで計345基となり、4年間で300基の計画は、3年で達成します。

行き渡る子育て支援
文化スポーツの推進

未来への希望をはぐくむには、子どもを安心して生み育てられる環境づくりがたいせつです。

その1つ、「こども医療費無料化」は、入院に続き、今年度、通院での無料化を中学校卒業まで拡大します。なお、この制度の実施は、今年の10月からです。

また、小学校3・4学年を対象に、市独自で35人程度学級を実施し、より行き届いた教育環境を整備します。

これまでも、留守家庭児童指導教室の入室希望者が多く、今後も、増加

元気を支える無料化

子どもには、いつも元気ですくすく育ってほしいものですが、ひよんなことから、お医者さんにかかることも少なくありません。小さな子どもが2人いる私には、中学校卒業までお財布を気にせず病院に行けることは、とっても助かりますね。



錦町1丁目
いとう のりこ
伊藤 典子さん

傾向がみられる南町地区には、同指導室を増設します。場所は南公民館内で、工事費用を394万円計上し、整備します。

更に、10月オープン予定で、蔵駅西口から徒歩2分にある3階建ての公共公益施設「くるる」には、平成23年4月、2階に民

期待抱く高齢者支援

介護は、受けるほうも
するほうも、たいへんなこ
とと最近のニュースでも
伺い知れます。そんなと
き、在宅要介護の高齢者
のかたを支援する制度が
新しくできるなど、私た
ち年代の身近な問題に、
行政の目が届いていると
感じ、うれしく思います。



塚越3丁目
きのした あき お
木下 昭夫さん

めに、安心して介護サービスを受けられる環境も整えます。65歳以上の在宅で要介護度4以上のかたで、世帯全員が住民税非課税の場合（生活保護を除く）を対象に、新たに在宅要介護高齢者手当制

[illegible]

気軽に参加ください
タウンミーティング

▶講師を招いて協働のまちづくりを考える皆さん



みんなでつくる市民参加のまちづくり

明るい元気な商店街
魅力広める観光事業

3分の1の550万円を補助し、商店街の活性化を支援します。また、中心市街地の活性化の目標と市の事業や商店街などが行う事業を体系的にまとめた「中心市街地活性化基本計画」を策定し、まちの活性化を進めます。

まつり、「宿場まつり」のほか、「藤まつり」を観光事業として計1160万円を計上し、まちを盛り上げていきます。

**利子補給と住宅改修
市内の経済を活性化**

長引く経済不況を背景

た、市の制度融資に対する利子補給を継続します。また、新規融資のときに必要な保証協会保証料に対する補給を新たに実施します。また、住宅改修資金助成制度を創設。個人用住宅リフォームなどを市内業者で行った場合、工事代金の5%（上限10万円）を助成し、市内経済の活性化を図ります。

元気な商店街・元気な蕨づくり



▲LED街路灯が整備される
「蕨西口みゆき商店会」

度を設けました。月額5000円を支給し、高齢者福祉の増進を図ります。

者夜間保護対応事業（シ
ョートステイ）を開始しま
す。施設の勤務体制の見直
しと職員の増員などで、
383万1000円を計
上し、障害があるかたや、
家族の安心を広げます。

病院経営改革プラン」に基づき、今年も医師の確保に努めながら、経営の健全化を図ります。更に、地域医療連携を進めながら、市民の皆さんに信頼され、安心感を求められ、病院を目指していきま



▲駅西口に設置されたエレベーター

特徴のある商店街に

必要なものが1度にそろう大型店は便利ですね。でも商店街には、お花やお茶など、「ここでなくっちゃ」というお店もあって、少し高くても利用しています。高齢化が進む今、ちょっとした休憩所を作るなど、商店街に特徴があってもいいのでは。



中央5丁目
かとうひとみ
加藤 仁弥さん

交流広がる市民参加

合宿通学のお手伝いや
 成年式実行委員を務めて
 から、あいさつする機会
 が増え、地域の役に立て
 たことをうれしく感じて
 います。多くの人との交
 流で視野も広がり、まち
 づくりで楽しいと思ひ
 ます。若い人たちも積極
 的に参加してみませんか。



北町4丁目
こばた ゆう な
古畑 佑奈さん

めの指針となる新たなプランを8月ごろに策定いたします。市では、今後、も、蔵の優れた地域力を更に高め、住んでよかったと思えるまちづくりを進めていきます。

市長タウンミーティング

～市長と語る会～

テーマは「平成22年度の施策・予算について」
蕨市の取り組みについてお話しします！

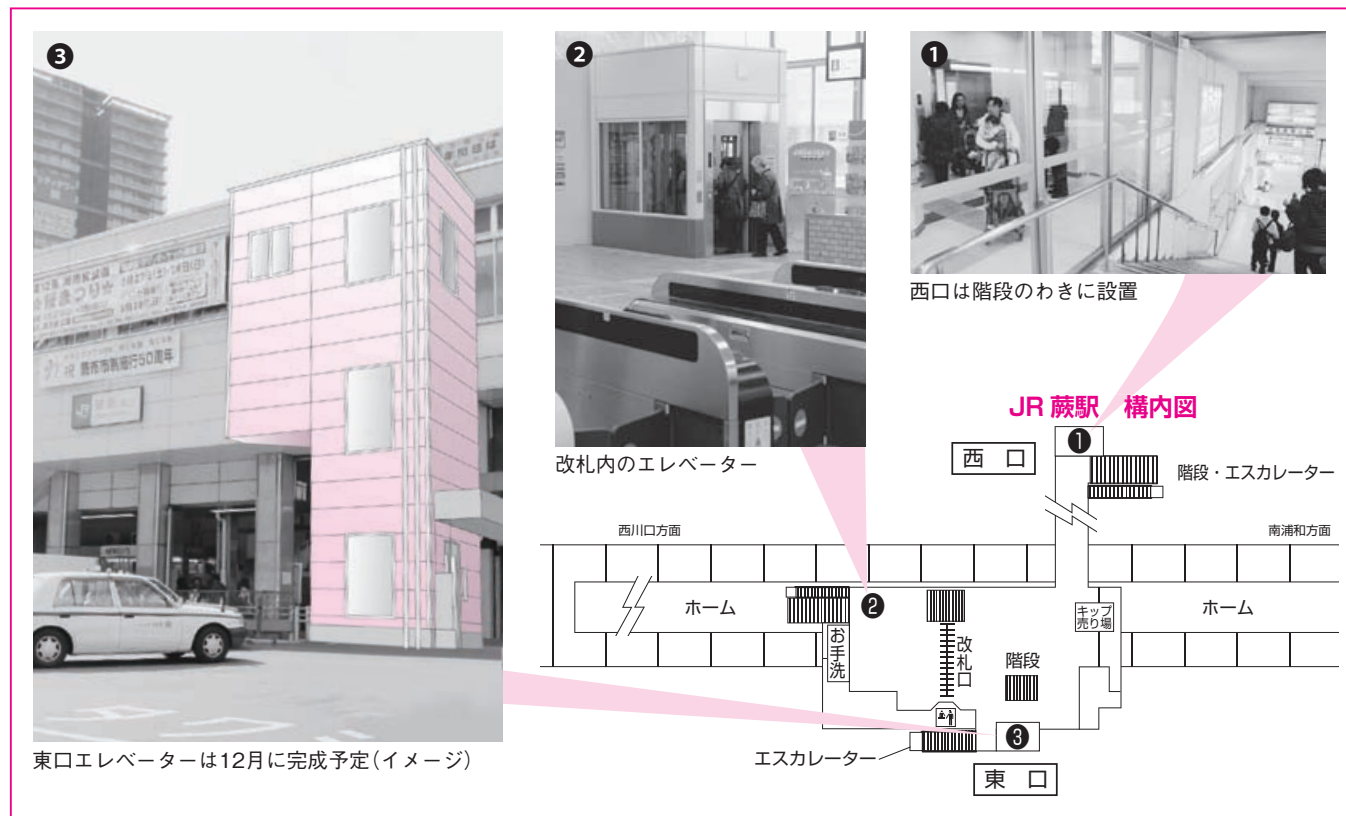
開催日時・場所

10日(土) 午前10時半～12時	西公民館
10日(土) 午後2時～3時半	南公民館
17日(土) 午後2時～3時半	中央公民館
17日(土) 午後7時～8時半	東公民館
18日(日) 午後2時～3時半	北町公民館

※タウンミーティングでは、各会場に託児（無料）をご用意しています。利用を希望されるかたは、開催日の7日前までに政策企画室（☎433・7698）へ

どなたでも自由に参加できますので、ふるってご参加ください

[illegible]



蕨駅西口エレベーター完成 ～みんなが安心・快適に～

特集：蕨駅のバリアフリー化

蕨駅西口にエレベーターが設置され先月19日、その完成記念式典が開かれました。これまでも、だれもが安心して快適に利用できる駅にしてほしいと多くの市民の皆さんからエレベーター設置を求める声が寄せられていました。今月は、設置までの歩みと、今年度、東口で進めていく設置工事の計画についてお伝えします。



の対応のほか、地震の際、自動で復旧するシステムなど、安心してご利用いただける設備も備えています。

設置工事の総費用は、約5280万円で、その内JRが3分の1を負担します。残りの2分の1を埼玉県からの補助金が充てられる予定で、市の負担は約1770万円となる予定です。

なお、昨年の12月には、市がJRに費用の一部を補助する形で、改札内とホームをつ

設置を望む多くの声

蕨市は、首都圏の住宅都市として発展するに伴って、たくさんのかたが電車で市外へ通勤・通学するため、JR蕨駅を利用しています。1日に上り下り合わせて5000本以上の発着があり、12万人近くが利用する、県内でも有数の利用者の多い駅です。

また、まちが線路で二分されていることから、線路を渡る手段として駅舎を通行するかたも少なくありません。

こうした皆さんのなかでも、お年寄りや体に障害のあるかた、ベビーカーをお使いのかたなどにとって、階段やエスカレーターでは不便なことが多いものです。国は、公共交通機関などのバリアフリー化を推進するため、平成12年度に通称「交通バリアフリー法」を制定し、蕨駅のような乗降客の多い駅はエレベーターの設置が求められるようになりました。

また、蕨駅へのエレベーターの設置に関しては、今まで2万人を超える署名が寄せられるなど、多くの市民の皆さんの切実な願いもあり、安心して暮らせるまちづくりを実現させるためにも、蕨駅にエレベーターを早期に設置す

みんなが安心の仕様

そんな皆さんの声におこたえしようと、市では、駅エレベーター設置に向けてJR側と協議を重ねてきました。JRとお互いに協力して設置していくことで協議がまとまり、平成20年度には工事の設計、そして先月、駅西口にエレベーターが完成しました。

このエレベーターは、幅1.4m、奥行き1.35mの11人乗りで、乗った向きのまま降りることができる、貫通型を採用。だれでもスムーズに乗り降りできる仕様です。更に、エレベーター内に防犯カメラを設置して、防犯や急病など



利用者の声

子育て世代の強い味方

子どもといっしょに川口市の実家に行くときに、蕨駅を利用しています。今まで下りは階段しかありませんでしたので、ベビーカーと子どもを担いで降りるしかなく、そのことを考えるとわずらわしくなり、別の交通手段で帰ることも。エレベーターが設置されたことで、駅を利用するのが苦にならなくなりました。



錦町1丁目・29歳
照山 美保子さん

高齢者にも優しい設備

膝や腰が痛いときなどに駅を利用する際、転倒のおそれがあるので、手すりにつかまり、慎重に階段を降りていました。駅にエレベーターのあるまちがうらやましいな、と思うことも。今年度中に東口にも出来るそうなので、電車でお出かけをしたり、西口に買い物に行ったりと、今までより外出する機会が増えそうですね。



塚越1丁目・74歳
矢島 さつ子さん

障害者の生活が広がる

車いすでの生活を送っているの、エレベーターが出来たことに心から感謝しています。今まで改札口に行くためには、私のためだけにエスカレーターを止めていただいていたので、とても気が引け、できるだけ駅を利用しないように考えていました。行きたいところの生活が楽しみです。



中央2丁目・58歳
広瀬 弘文さん

生活機能評価「はつらつ介護予防健診」 実施方法が変わります

基本チェックリストが送付されます
(4月20日ごろ)

基本チェックリストに記入して返送
(5月10日までに)

結果アドバイス票が送付されます

生活機能低下のない人
今後もさまざまな活動に参加するなど、状態の維持に努めてください

生活機能低下のある人
別途送付される「生活機能評価受診券」を持って、医療機関で受診してください(国民健康保険・後期高齢者保険などの加入者は、それぞれの健診と併せて受診してください)

介護予防教室への参加の必要がない人
今後もさまざまな活動に参加するなど、状態の維持に努めましょう

介護予防教室への参加の必要がある人

蕨市地域包括支援センターから、介護予防事業をご案内します。ぜひ参加して、これからは自立した生活を送りましょう

生活機能評価「はつらつ介護予防健診」は、高齢者に起こりやすい足腰の衰えや栄養の偏りなど、危険な老化のサインを早期に発見し、介護が必要な状態になることを予防しようとするものです。
蕨市では介護予防の必要性が高い人を事前に把握するために、日常生活の様子などを確認する「基本チェックリスト」での調査を実施いたします。

対象となる人

平成22年4月1日現在、65歳以上で、介護保険の要支援・要介護認定を受けていない人

基本チェックリスト

生活状況や運動機能、栄養状況などに関する簡単な30項目(基本25項目+アンケート5項目)の質問となっています。回答は、「はい」または「いいえ」のいずれか(身長と体重は、数値を記入)を選んで、同封の返信用封筒で、5月10日までに介護保険室へご返送ください。

結果アドバイス票

回答していただいた人に、「結果アドバイス票」をお送りします。生活機能の低下が見られる人には、「生活機能評価受診券」もお送りしますので、医療機関で受診してください。その結果、介護予防の必要性が高い人には、介護予防事業のご案内をいたします。

成年後見制度の利用支援
認知症などで判断能力がじゅうぶんでない高齢者に対し、成年後見人などを選任するために必要な支援を行います。
高齢者虐待の防止
高齢者に対する身体的・心理的・経済的な虐待を防止するために必要な施策を実施します。
問い合わせ 介護保険室(☎433・7756)

●社協に委託する事業
総合相談・支援
高齢者とその家族の、介護、福祉、保健、医療、生活に関するさまざまな相談をお受けし、必要なサービスや制度の利用ができるように支援します。
権利擁護
認知症などで判断能力がじゅうぶんでない人などを保護・支援する成年後見制度の利用についての援助や、家族、同居人などによる身体への暴行、介護の放棄、心理的嫌がらせなどの高齢者虐待の相談、高齢者に関する困難事例や消費者被害などにも対応します。
介護予防ケアマネジメント
介護保険で要支援一・二となった人に対して、介護予防サービス計画(ケアプラン)を作成し、ホームヘルパーやデイサービスなどの介護予防

サービスを提供する事業所との連絡調整を行います。
また、要支援や要介護になるおそれのある人に対して、介護予防事業を実施します。
包括的・継続的ケアマネジメント
地域住民や関係機関と連携する「地域包括ケアネットワーク」づくりや、ケアマネジャーへの支援を行います。
介護予防事業
特定高齢者の運動や口腔機能の向上、栄養改善などのための、スポーツクラブなどを利用した介護予防教室や、個別訪問により、要介護状態になることを予防します。
また、転倒予防教室「蕨びんちゃん教室」や、認知症予防講座など、高齢者の生きがいと健康づくりを支援します。
問い合わせ 蕨市社会福祉協議会(☎434・6721)



蕨びんちゃん教室の様子

地域包括支援センターを 社会福祉協議会に委託します



事業の委託を受けた蕨市社会福祉協議会

高齢者の皆さんが、住み慣れたまちで、安心して生き生きと暮らせるように、市では、平成18年に地域包括支援センターを設置し、介護や保健、権利擁護などの総合的な支援を行っています。今年4月から、このセンターを、福祉の人材と地域福祉のノウハウを持つ、蕨市社会福祉協議会に委託することで、更なるサービスの充実を図っていきます。

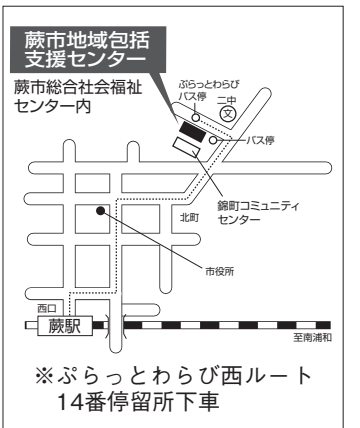
**専門知識と経験生かし
更に充実の事業展開を**
高齢化社会が急速に進むなか、介護予防と、高齢者のさまざまな課題について、総合的に支援する機関として、平成18年に設置されたのが、地域包括支援センターです。
蕨市では、この地域包括支援センターを、総合社会福祉センター内に設置し、直接運営をしてきましたが、今月から、地域包括支援センターで行ってきた包括的支援事業と介護予防事業を、社会福祉法人蕨市社会福祉協議会(右下図参照)に委託して、実施することになりました。
福祉の人材と地域福祉のノウハウやネットワークを持つ、社会福祉協議会に事業を委託することで、更なるサービスの充実を図っていきます。
そこで今月は、地域包括支

援センターの役割と、市役所介護保険室で取り扱う事業、社会福祉協議会に委託する事業について、ご紹介します。

●センターの役割
高齢者やその家族が、住み慣れたまちで、いつまでも健康やかに暮らしていけるように、センターでは、保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士などが連携を図りながら、介護、福祉、保健、医療、権利擁護など、多方面にわたって総合的に支援しています。
具体的には、①高齢者やその家族に対する総合的な相談と支援、②権利擁護(虐待や成年後見の相談)、③介護予防ケアマネジメント(サービス計画の作成)、④包括的・継続的ケアマネジメント(高齢者を支える地域の連携づくり)の4つの「包括的支援事業」と、はつらつ介護予防健

診で把握された特定高齢者や一般の高齢者を対象とした介護予防教室などの「介護予防事業」を実施しています。

●介護保険室の事業
特定高齢者の把握事業
特定高齢者とは、要支援・要介護状態になるおそれのある人をいいます。
65歳以上の人を対象に行うはつらつ介護予防健診に基づき判定した特定高齢者に対し、地域包括支援センターと連携して、介護予防事業への参加を働きかけていきます。
今年度はこの把握の方法が次のとおり変更となりましたので、ご確認ください。
認知症サポーター養成事業
認知症を正しく理解し、認知症の人やその家族を応援する「認知症サポーター」を養成して、だれもが安心のまちづくりを目指します。



※ぶらっとわらび西ルート
14番停留所下車

ひと 輝いています

読み聞かせボランティア

原 美紀子 さん

毎

月第3土曜日の午前11時15分、中央4

丁目の福祉児童センターには、「みきおねえさんのエプロンシアター」を楽しみにするたくさん親子連れがやって来ます。

「始まるよつたら始まるよ」「手はおひざ」。読み聞かせの始まりの歌を歌い終えると、「みきおねえさん」こと原美紀子さん（中央6丁目・28歳）は、子どもたち1人1人の顔を見ながら、ゆつくりと語り始めます。健やかな心をはぐむ情操教育の1つに挙げら

子どもたちと笑顔でいたい



れる読み聞かせ。でも、物語を通じて、「ただ、子どもたちといっしょに笑っていたい」というのが原さんの本音です。たとえ1人でも聞きに来てくれる子どもがいたなら、最後は笑顔になって帰ってもらえるように、心を込めて読み聞かせをするのが原さんの信条です。同センターで活動が続けて9年。保育士を目指し、子どもの心理を学ぶために通い始めたころとは違い、仕事としてよりも、ボランティアとして子どもと接することに魅力を感じるようになった原さん。読み聞かせの最中に、膝の上に座る子や、ほっぺにチュツとしてくれる子、まちなかで「みきおねえさん」と声をかけてくれる子どもたちとの関係に、心と心の結び付きを感じています。純粋でまっすぐな心を持つっている子どもたちに「癒され、元気をもらえ」るのが読み聞かせの時間。そんなかけがえない時間をいつまでもたいせつにしていきたい」と、笑顔あふれる原さんです。

ぷらっと・わらび・小さな旅

16日～18日は
春の山野草展

柔らかな日差しが心地よい季節です。北町公民館で開かれる「春の山野草展」に足を運んでみませんか。

16日から3日間、ロビーではサクラソウやイカリソウなど、この時期しか見られない100点以上のかれんな花が訪れた人たちをお出迎え。これはわらび山草クラブ（鈴木美代吉代表・



わらびの野鳥・虫・草

フクラスズメ

寒さが緩んできた3月下旬、市役所玄関で、ひっそりと羽を休めていたのは、開帳8センチや大型のガ、フクラスズメです。スズメが羽毛を逆立てて冬の寒さに耐える様子を「ふくらすずめ」と言い

ますが、丸くて全身がスズメのような体色の毛に覆われたこのガは、それにちなんだものです。主に林に生息していますが、越冬のため、人家に現れることも。室内で見かけたらちよつと怖いですね。虫たちが活発になる春本番。次はどんな生き物に出会えるでしょうか。

会員22人）の皆さんが丹精込めて育てたものです。公民館の講座をきっかけに4年前に発足した同クラブ。月1回の活動日では、育て

小さな春が感じられる同展は、西ルート5番停留所「市民体育館」が最寄り。下車して目の前です。



育てている草花を並べて会話ははずむ皆さん